

T C A ニ ュ ー ス No. 64

東京サイクリング協会 〒110 東京都台東区上野3-8-8 ☎03-3833-3969

サイクリストの五業 ①輪乗・自転車を楽しむ ②行楽・旅を楽しむ ③遊楽・酒を楽しむ ④友楽・友と楽しむ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

1991年8月発行

T C A 名誉会長に秦野章氏を推戴

「みんなと走るぞ」と秦野さん

8月7日開催の定例理事会は、全員一致でT C A名誉会長に秦野章氏を推戴することを決議し、直ちに秦野氏にお願いしたところ快諾して頂くことができました。

秦野章氏は異色の警視総監として都民に親しまれ、のち参議院議員として政界に乗り出し、法務大臣を勤められました。現在は評論家として辛口の論説を展開されており、政界のご意見番といわれています。

秦野名誉会長は「若い頃、自転車屋で働いていたから、今でも自転車は組み立てられるよ。これを機会に粋な自転車を作ろうかな」と意欲を燃やされており、10月13日(日)の「第2回視覚障害者とサイクリングを楽しむ集い」にも参加されて、ペダルを踏むと張り切っておられます。

これらかのT C Aのさまざまな行事に秦野名誉会長は顔を見せてくださるものと、期待しています。

** 秦野章氏の横顔 **

明治44年(1911)10月10日生まれの80才。神奈川県藤沢市出身。18才の時、生家が倒産したため、旧制中学を退学。鎌倉で酒屋の店員、横浜で自転車屋の店員、貿易商のボーイ、生糸検査所の職員などをして生家の生計を助ける傍ら勉学を続け、日本大学専門部に学び、高等文官試験(現在の公務員上級職試験)に合格。香川県商工課長、茨城県警務課長、大阪府刑事部長、警察庁刑事課長、警視庁公安部長をへて昭和42年警視総監。昭和46年都知事選で美濃部氏と対決。昭和49年参議院議員に。昭和57年第2次中曽根内閣の法務大臣。昭和61年政界引退。以来評論家として活躍。

趣味は歌謡曲、麻雀、歌舞伎、絵画鑑賞など。

— 鈴木専務理事の話 —

久しぶりに特ダネを抜いたような良い気分です。ありがとう秦野さん。その顔を良く見てください。秦野さんは以外と童顔なのです。口が悪いという評判もありますが、実に温かい、細やかな心遣いの親父さんです。だからこそ警視庁では、第一線の警官にも親しまれていたのです。この親父さんを先頭にしてみんなで楽しくペダリングしましょう。

日本を代表する女流書家の一人 柳田青蘭先生から「風」「道」を頂きました

*

柳田青蘭先生は、東京銀座の書道教室「学書院」院長で、日本を代表する女流書家の一人です。

青蘭先生は、さきごろ門下の高木恵子さん（学書院理事・師範、TCA 理事）の勧めで、24号のプロムナード車を注文制作されるなどして、サイクリングへも関心を示され、TCAの役員とも顔見知りになっておられます。こうしたことから愛弟子からの頼みとあってはと、快く「風」「道」二文字を揮毫してくださいました。

開発部長近藤隼人氏がこの文字を土台としてトレーナー、Tシャツを制作しようと構想を練っています。ご期待ください。また機会があれば青蘭先生もわたくしたちと走るのを心待ちされています。

尚、8月7日の定例理事会は、全員一致でTCA顧問に柳田青蘭先生を推挙することを決議し、直ちに青蘭先生にお願いしたところ快諾して頂くことができました。

** 柳田青蘭先生プロフィール **

昭和9年（1934）10月26日、東京生まれ。子供の頃から絵画に関心を持ち、修練を積む。21歳のとき、柳田泰雲氏と出会い結婚。それまで画家を志していた青蘭は、夫の影響を受け書道を始める。以来、すでに11回にわたる青蘭書品展、閨秀書展など多数の書展に出品している。現在、女性では数少ない楷書の大家である。書の表現を伝統的な筆、墨、紙のみによらず、石刻、ガラス彫刻などで建築の中に書を取り入れることやハイテク技法による作品制作にも意欲を燃やして、個展の折々に新しい分野を開拓しながらその作品を披露している。また一方で、女性らしい優雅な和服に書をデザインした作品も数多く発表している。さらに、視覚障害者への書道教育など書道活動を通じての福祉を常に考え、書道界以外でも広くいろいろな分野の人々に、書に対する関心を高めようと活躍している。

1990年花博開催日会場にて「花」という大字を書き大喝采を受けた。

1988年6月 柳田青蘭書品展「春夏秋冬」 コンピュータグラフィックスの書作品発表

1989年5月 柳田青蘭書品展「幻想の書」 レーザー光線の書作品発表

1990年9月 柳田青蘭書品展「ホログラム」 ホログラムの書作品発表

1990年9月 中国山東省泰安市より名誉市民の称号を授与される。

現在 *学書院院長

*全日本学生書道連盟理事長

*青々会会長

*八ヶ岳泰雲書道美術館館長

T C A 会 員 愛 用 車 乗 り 比 べ ミ ー テ ィ ン グ

*

わが国のサイクリングのスタイルと車種については、初期の遠乗り会から始まりツアー車、英国風のクラブモデル、フランスタイプのシクロツーリズム、ランドヌール（ランドナー）、キャンピング、日本独自の輪行車、パスハンター、アメリカを起源とするMTB、ATB、あるいは、ロードレーサー、トライアスロンモデル等様々なものがあります。

我々、T C A の会員の中でも各自が各様の走り方を楽しみ、それぞれに適した自転車を持っているものと思います。そこで、第一回の企画として、各自が利用している自転車を持ち寄って都心部のポタリングを楽しみながら様々なタイプの自転車を比べ合い、今後の楽しみ方に反映させたいと思います。 皆様、奮ってご参加下さい。 /

- 日 時： 平成3年9月29日（日） 午前10時～午後3時（雨天中止）
集合場所： パレスサイクリング道路受付事務所前（連絡先 3211-5020 8:30～15:00）
内 容： 皇居周辺ポタリング及びパレスサイクリング道路での乗り比べ。
昼食は、各自で持参するか、最寄りの食堂を利用して下さい。
申し込み： 準備の都合がありますので、電話又は、ハガキで9月13日（金）までに東京サイクリング協会（☎ 03-3833-3969）へ連絡して下さい。
その際、参考までに当日持参する車種を教えてください。

1 0 月 6 日（日）は

「都民サイクリング イン 秩父」

*

昨年好評だった「秩父札所めぐり」を、今年も別のコースでまわって見たいと思います。家族そろって、あるいは友だちと、のどかな秩父の路を、秋風に乗ってサイクリングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

レンタサイクルは30台程しかないので、なるべく自分の自転車を持ってきて下さい。

*

- 開催日時： 平成3年10月6日（日）午前9時より12時まで
集合場所： 西武秩父駅「秩父レンタサイクル」前
定 員： 30人（レンタサイクルを使用の方）自転車持込みの方は100人。
参加資格： 成人用のミニサイクルに乗って、10キロ程度を安定に走れる方。
コ ー ス： 約10km 昼食は、解散後各自で自由に取って下さい。
主催団体： 東京サイクリング協会（略称T C A）
東京都台東区上野3-8-8 ☎03-833-3969
参加費用： ¥2,000（自転車借用料、保険その他に充当）
¥1,000（自転車持込みの非会員）
レンタサイクルの利用がなければT C A会員の参加費は無料です。
申 し 込 ん だ り： まず電話で問合せ後、往復ハガキに住所・電話番号・氏名・年齢・性別・血液型を記入し東京サイクリング協会宛に申込んでください。
持 参 品： 弁当、水筒、健康保険証

10月13日(日)は

「第2回視覚障害者と

サイクリングを楽しむ集い」

大勢の方の参加と協力をお願いします

*

TCAニュース№62でお知らせしたように、去る5月12日、わたくしたちは東京都盲人福祉協会と共同主催し、明治神宮外苑の休日自転車道路で、自転車道路協会所管のタンデム車約10台を利用して「第1回視覚障害者とサイクリングを楽しむ集い」を実施しました。

この集いには視覚障害者約40人が参加され、自転車によって遊ぶということがじつに素晴らしいことだと喜んで頂けました。そして、みんなでお昼の弁当を食べているときに、「できることなら毎月でもやってくれませんか」という申し出があって、TCAのスタッフは嬉しい悲鳴をあげるという一幕もありました。

また、立川市から参加された視覚障害者の婦人は、立川市の社会福祉協議会としてもこうした問題に取り組んでほしいと申し出をしたりしています。

10月13日(日)は「第2回視覚障害者とサイクリングを楽しむ集い」を前回と同様、午前9時係員集合、10時サイクリング開始。小雨決行、中止の場合は次週20日の日曜日に順延の形態で実施します。

これはサイクリストが自分の趣味を生かして、障害者の皆さんと一体となって楽しめる素敵な行事です。タンデム車の未経験な方でもサイクリストならすぐになれます。またそれ以外にもお手伝いして頂きたいことはありますので皆さんの参加と協力をお願いします。ご参加頂いた方には都盲協から感謝状をくださいます。参加ご希望の方は9月20日までにTCA事務局まで葉書もしくは電話でご連絡ください。尚、この行事はリーダー資格更新の対象となりますので、リーダーの方の積極的な参加ご協力をお願いします。この行事は今年は2回ですが、来年は各季節に1回づつの年4回に拡大することを予定しています。

TCA特製ウインドブレーカの

ご注文をどうぞ

*

今年の春、開発部長近藤隼人氏が高木恵子理事の揮毫をデザインしたウインドブレーカを制作しましたが、評判がよく品切れとなっていました。このほど蛍光色の製品10着が完成しましたのでお頒けできます。

このデザインは背中にサイクリストの五楽「和楽・友楽・道楽・輪楽・遊楽」を配置しており、楽の字を中心に『和・友・道・輪・遊』の五文字が円く配してあります。

※ご希望の方は、まずTCA事務局へ電話で在庫を確認してから、代金4,200円と送料300円を添えて東京サイクリング協会(☎03-3833-3969)まで申し込んで下さい。

秋のTCAサイクリストラリー

「湯河原」へ集中ラン

*

ここ数年秋のサイクリストラリーは、富士山麓「西湖」集中ランでやってきましたが、今年は湯河原で開催される、東京の港サイクリングクラブが担当主管の第22回クラブラリーに、私どもTCAの会員も参加したいと思いますので奮ってご参加下さい。サイクリングが大好きで、各地のサイクリング愛好者と会って話をしたり、食べたり、飲んだりする楽しさは、素晴らしいものと思います。あまり堅く考えないで参加して下さい。

このクラブラリーといえますのは、日本のクラブサイクリストが集まる各地のクラブが、年に一度日本各地を持ち廻りで開いている、サイクリストの「懇親会」というか「懇談会」というか、とにかく個々のサイクリングをクラブを通じ、より楽しく発展させていこうという目的で実施しているもので、毎年代る開催地の特色を生かした内容で当番クラブのサイクリスト達が趣向をこらして実施しています。参加記念品にしても、クラブのみんなが考えて作り出すもので、JCAの補助金でやっている全国ラリーや、ブロックラリーとはちょっと違った味のものです。クラブラリーに集まるサイクリストは、おおぜいといっても100人ぐらいでまとまりやすい人数です。

期 日：平成3年11月3日（日）～4日（振替休日）

集 合：11月3日 午後5時までに、静岡県熱海市泉 107

湯河原厚生年金会館へ（☎ 0465-63-3721）各自のプランでサイクリングを楽しみながらお集まり下さい。

受 付：3日 午後3時～5時 早くに来て温泉に入ってゆっくり / /

会 食：午後6時30分～8時

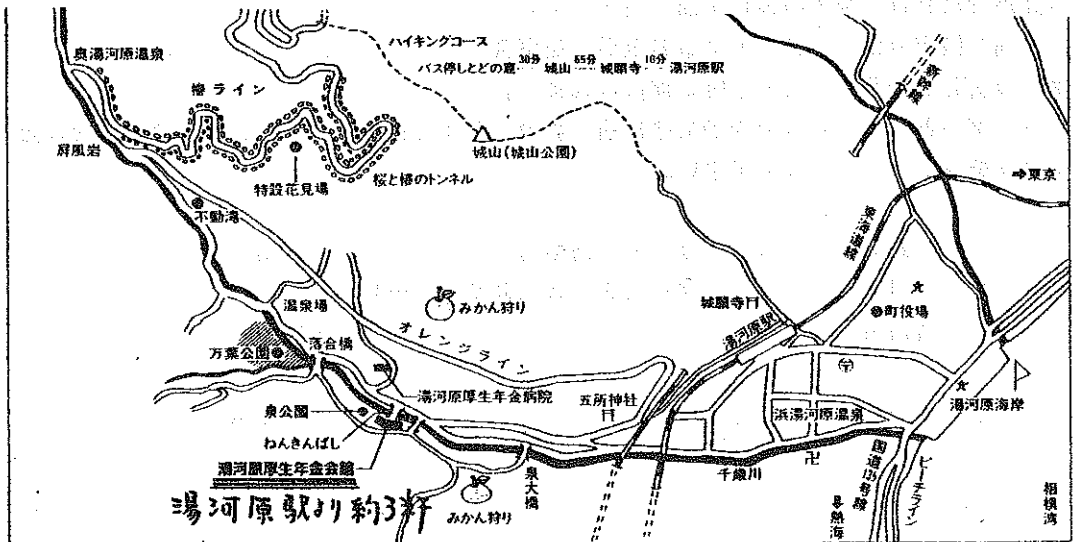
懇 談 会：午後8時～9時30分

朝 食：4日午前8時、9時より泉公園にて写真撮影

解 散：写真撮影後解散、各自のプランでサイクリングを楽しみながらお帰り下さい。

参 加 費：1万5千円（一泊二食、記念品、写真代等）

申 込 込 込：9月末日までに参加費を添えTCAへ、30名で締切り



新たに三名、リーダーに合格 ～リーダー検定講習会行なわれる～

*

7月13日(土)～14(日)、代々木国立オリンピック記念青少年総合センターに於て、TCAリーダー(JCA二級リーダー)の検定講習会が行なわれました。今年は三名の受験希望者があり、一泊二日の合宿形式の検定講習会に挑みました。

初日は午後1時半の集合、受付でしたが、午後1時にはもう全員が集合し、熱意の高さを感じられました。受付後、携帯品のチェックから検定がスタートしました。ブームのおりから、MTB持参の受講者が現われるかと思われましたが、今年は全員がロードレーサー(タイヤは700C)でした。その後、心構えや技術、法規等の各種の講義が4時過ぎまで行なわれました。休憩の後、今回のもう一つの企画であった、TCA技術研修会が始まり、一般会員と共に受講生も、アマチュア無線や、コマ地図サイクリングについての説明を受けました。夕食後は持参した自転車のチェックである定置テストが行なわれ、その後、TCA行事の記録やMTBのビデオを見たり、自由討論が行なわれ、参加者全員の親睦が深夜まで(1)深められました。

二日目は、午前6時半から、技術研修会の実技編ということで、コマ地図を用いた早朝サイクリングが参加者全員で新宿新都庁舎を巡るコースで行なわれ、実技テスト前の軽いウォーミングアップになったようです。

朝食後、ペーパーテストが行なわれ、頭も軽く(?)運動させた後に、いよいよ実技テストとなるわけですが、このころから雨が激しく降り始め、全員(検定員も含め)雨具着用でのスタートとなりました。検定コースは、神宮外苑サイクリング道路を經由して、パレスサイクリング道路までの約15kmでしたが、生憎の雨で両サイクリング道路とも中止となり、実際のリーダーの仕事ぶりを見学、体験してもらうことは出来ませんでした。しかしながら、雨は途中で上がり、コース途中でのチェックも無事終わり、お昼過ぎにはパレスサイクリング道路本部に到着しました。なお、実技テスト中、免許所持の検定員によるアマチュア無線を用いた連絡網(実走2台、チェックポイント・本部各1台)も試され、成果をあげることが出来ました。今後の活用が期待されます。昼食後、検定員からの講評が行なわれ、全ての検定が無事終了しました。

今回の検定の結果、三名の受講者全員、無事合格となりました。これから、TCAリーダーの新しい仲間としての活躍が期待されます。

リーダーとしてTCAの活動に積極的に協力、参加を希望される方、次回の検定講習会に是非チャレンジしてみてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| ◇ 1991年度JCA一級リーダー合格者 | ・池田 宰 |
| ◇ 1991年度TCAリーダー(JCA二級リーダー)合格者 | ・下村 隆
・色部一夫
・川村光男 |
| ◇ 技術研修会参加者 | ・19名 |

私の自転車旅行「奥の細道」(4)

— 最終回 —

及川 清

*

第七回目は昭和58年4月28日～5月1日。

この年の1月大阪へ転勤となり、高槻市の自宅に単身赴任することとなった。奥の細道の残りは西の方にあるので好都合だった。4月29日はまず夜行寝台で富山まで輸行。新湊、氷見、高岡を通過、くりから峠を越え金沢に着く。金沢城や兼六公園を見物し、芭蕉が句会を催した願念寺、犀川のほとりの句碑などに立ち寄り、しばし思いにふける。この日はさらに松任まで走り、駅前旅館に泊まる。

4月29日のコース(98km)

富山→新湊→氷見→高岡→金沢→松任

翌日は芭蕉が、しほらしい名前と言った小松から山中温泉へ。それから芦原温泉へと走る。途中の北瀧湖から雪を頂いた白山が見えた。芦原温泉から永平寺までは輸行。永平寺から福井まで走るつもりだったが、駅前のタクシーから福井まで空車で帰るのだが安くしておくからどうだね、と言うのに誘われてタクシーで福井へ。

4月30日のコース(68km)

松任→小松→山中温泉→芦原温泉

3日目、5月1日は福井から武生トンネルをくぐって敦賀へ。市内はメーデーのデモ行進。今回はここまで。

5月1日のコース(56km)

*

第8回目は昭和58年6月11日。日帰りで敦賀から近江長岡まで走る。まず原子力発電所のある立石岬に行く。途中種の浜に「花びしき法花寺」あり、芭蕉の句碑と虚子や誓子など現代俳人の俳句が記された案内板があった。

塩津街道の琵琶湖へ抜ける峠に孫兵衛茶屋があり、祖先の物らしい鎧兜が飾ってあり、また、庭には芭蕉の句が石に刻まれていた。

松風か 落ち葉の水の 音すずし

6月11日のコース(70km)

第9回目はいよいよ最終回。昭和58年7月9日。近江長岡から大垣までの25km。芭蕉は「駒にたすけられて大垣の庄に入り」、伊勢からかけつけた曾良など沢山の門弟の訪問を受け、蘇生した如く喜び、

蛤の ふたみにわかれ 行萩ぞ

と詠んで舟にのって伊勢へとわかった。

私は、関ヶ原の日本歴史館や不破の関跡などを見て大垣駅に着いた。駅舎の時計は午前11時5分。このようにして、芭蕉の「奥の細道」約1200kmを約2年かかって走りました。

皆さん長い間おつき合い頂き有り難うございました。尚参考までに交通費や宿泊代などにかかった費用は約20万円ほどでした。 おわり

『編集部から：及川さん、4回にわたってご執筆いただきましてご苦労さまでした。会員の方から「いつかはこんな旅をしてみたいと思っていたのでとても参考になりました」という声も寄せられています。また、走られた記録が完成しましたら、楽しい記事を寄せてください。また会員のみなさんからの投稿をお待ちしています。』

..... * * *

来年度のT C A会員に
特製ステッカーをプレゼントします

*
T C A会員の仲間意識を確かめあい、サイクリングのイメージを盛り上げるためにと、開発部長近藤隼人氏が柳田青蘭先生による「風」と「道」をモチーフにしてデザインした特製ステッカーを来年度のT C A会員に無償配布します。みなさんの愛車の適当なところにステッカーを貼りつけて可愛がってください。お楽しみに。



Tokyo Cycling Association



Tokyo Cycling Association

..... * * *

※今後の主な行事予定

- 8月25～26日(日～月) J C A第35回全国ラリー(浜名湖・館山寺温泉)
- 9月14～15日(土～日) 関東甲信越ブロックラリー(千葉県銚子・犬吠埼)
- 10月6日(日) 都民サイクリング イン 秩父
- 10月13日(日) 第2回視覚障害者とサイクリングを楽しむ集い
- 11月3～4日(日～振替休日) 秋のT C Aサイクリストラリー(湯河原)
- 12月11日(水) T C A忘年会(原宿東郷記念館)